



吉村知事に「2020年度山形県 予算編成に向けた要請書」を提出

10月3日、連合山形は2020年度の山形県予算編成に向けた要請書を吉村知事に提出しました。小口会長代行から「雇用・労働」「行政改革」「産業・環境政策」「社会保障」「教育政策」の5つの部会でまとめた要請書を吉村知事に手交、その後、連合山形三役との意見交換を行ないました。

「働き方改革関連法」が今年度から順次施行されているなかで、連合山形は長時間労働の是正をはかるために、

「Action! 36」のキャンペーンを通じて36協定の締結促進を訴えて来ましたが、県内企業の労使においては4割程度しか締結されていない状況であることを報告し、36協定締結の重要性と年次有給休暇5日間取得義務の積極的な周知、労働局との連携の強化などについて意見交換しました。

吉村知事は、県内事業所の約9割を占める20人未満の小規模事業所への対応を課題として取り上げ、働き方改革推進アドバイザーによる訪問と山形労働局、そして連合山形との連携を軸に対応していくことなどの方針が示されました。



【連合山形からの出席者】

小口裕之（会長代行）、金子浩（副会長）、森伊織（副会長）、丹野忍（副会長）、柿崎隆英（副会長）、蒲原清天（副会長）、齋藤洋次（副会長）、設楽正（事務局長）、柏木実（副事務局長）、小川修平（副事務局長）

【山形県からの出席者】

吉村美栄子（知事）、木村和浩（商工労働部長）、佐藤譲（雇用対策課長 正社員化・働き方改革推進室長）

連合山形第32回定期大会

とき 11月8日（金）10：30～17：00

場所 大手門パルズ 3F 「霞城」

10月1日から山形県の最低賃金が790円に！ ～2019山形地方最低賃金改正に伴う街宣行動～

9月27日と10月2日に、10月1日から山形県の最低賃金が790円に改正されるにあたり街宣行動を行いました。

790円で年間2000時間働いても年収が158万円にしかならず、ワーキング・プアと言わざる負えない状況であることなどの問題点を街頭宣伝で訴え、世論喚起をはかりました。

小口会長代行、蒲原副会長、設楽事務局長、原田和広山形県議会議員、遠藤吉久山形市議会議員がマイクを握り、お昼休みの山形駅前及び七日町で山形市民に対しアピールを行いました。また、構成組織からの参加者と働く仲間の連合公式キャラクター「ユニオニオン」が、街ゆく方々にチラシ入りのテッシュを配布しました。

連合山形は今後も最低賃金についての世論喚起をはかるために、各地域協議会も含め全県的な街頭宣伝行動を予定しています。



各地協の街直行動

【北西村山地協】



渡辺賢一・沖津一博（寒河江市議会議員）



水澤事務局長

【酒田飽海地協】



北川議長、佐藤副議長

【鶴岡田川地協】

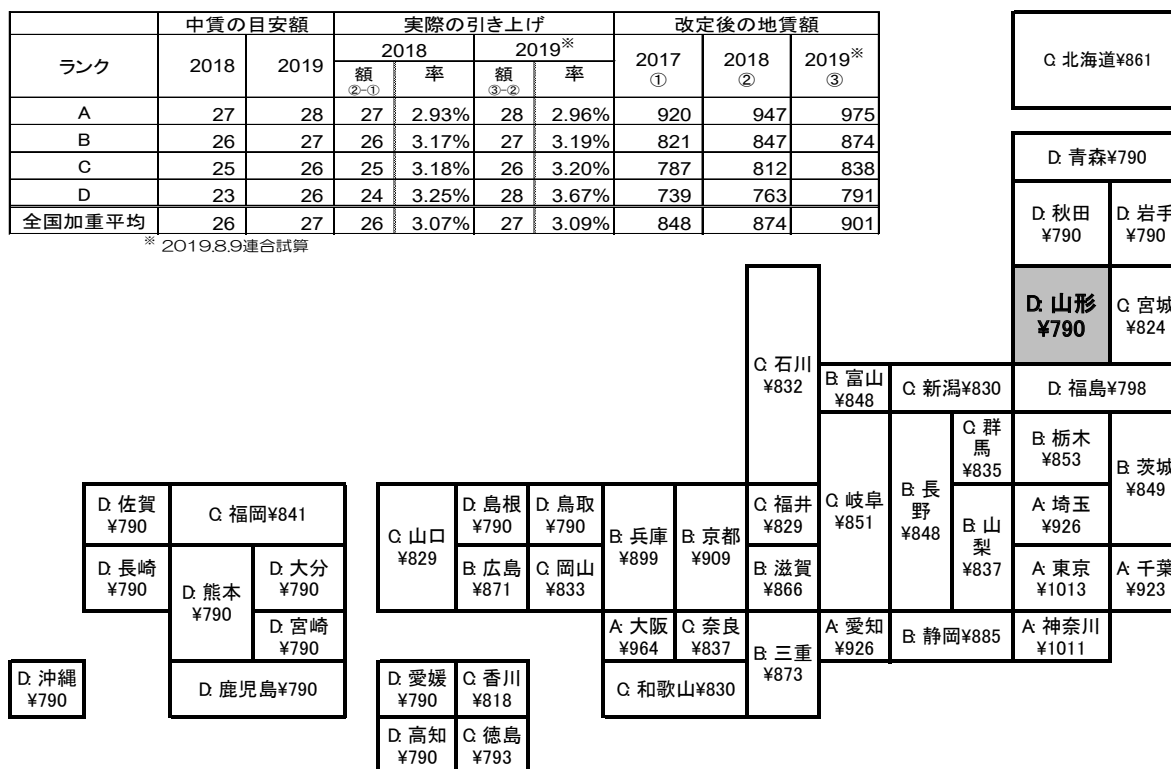


工藤議長、舟山やすえ・芳賀道也（参議院議員）田中宏（鶴岡市議会議員）

2019地方最低賃金・改定額一覧（地図）

ランク	中賃の目安額		実際の引き上げ				改定後の地賃額		
	2018	2019	2018		2019※		2017 ①	2018 ②	2019※ ③
			額 ②-①	率	額 ③-②	率			
A	27	28	27	2.93%	28	2.96%	920	947	975
B	26	27	26	3.17%	27	3.19%	821	847	874
C	25	26	25	3.18%	26	3.20%	787	812	838
D	23	26	24	3.25%	28	3.67%	739	763	791
全国加重平均	26	27	26	3.07%	27	3.09%	848	874	901

※ 2019.8.9連合試算



学習会「同一労働同一賃金の実現に向けて」開催

2020年4月から順次施行される、「働き方改革関連法」の「同一労働同一賃金」法整備についての学習会を、運動を実践する多くの組合役員層の見識を深めるために8月9日と9月6日の2回に渡り開催しました。

連合・総合労働局労働法制対策局の古賀友晴部長を講師に招き、法整備を踏まえたテーマに対しての労働組合の取り組みについて、講演を行なっていただきました。

参加者からは、所属する事業所の法対応についての確認や労働組合としての対応に対する質問の他、資料を多数持ち帰る参加者もあり感心の高さがうかがえました。



質問に答える古賀部長



熱心に質問する酒田飽海地協戸塚副議長

第16回「ふれ愛チャリティーゴルフ大会」に86人が参加

今年で16回目になる「ふれ愛チャリティーゴルフ大会」が、9月14日（土）NEWブラッサムガーデンクラブで開催しました。

勤労者と労働福祉事業団体の会員との相互交流や親睦をはかることに加え、参加者よりチャリティ金を募り、ふれ愛募金会を通じて障がい者の方々の社会参加や福祉施設の環境整備などに役立てていただくことを目的として、毎年開催しています。

山形県労福協・連合山形・労働金庫の共催による、労働金庫の「ふれ愛募金事業」と連動したこの大会のチャリティ収益金843,256円は、「ふれ愛募金会」に贈呈されます。青天のもと86人がナイスショットでスポーツの秋を堪能しました。



①個人の部			②団体の部		
優勝	新藤 崇浩 (米沢地区)	OUT 41 IN 43 NET 69.6	優勝	田川地区 (小鷹真也、小松亮一、 尾崎竜一、橋本廣美)	NET計 290.6
準優勝	小鷹 真也 (田川地区)	OUT 38 IN 42 NET 70.4	準優勝	米沢地区 (新藤崇浩、古山篤志、 佐藤勝利、高橋光一)	NET計 293.2
第3位	石塚 清 (北村山地区)	OUT 48 IN 49 NET 70.6	第3位	北村山地区 (石塚清、小野正彦、柴 田昭弘、齋藤三夫)	NET計 293.6
ベス グロ	辻 壮 (天童地区)	OUT 35 IN 38 GROSS 73			

平和行動に参加して

6月～9月にかけて沖縄、広島、長崎、根室の4カ所で平和行動が行われ、連合山形から延べ39人が参加しました。参加者を代表して4人の方から感想を寄せて頂きました。

平和行動 in 沖縄 6月23～24日

女性委員会 木口久仁子

太平洋戦争で唯一地上戦が行われた沖縄。20万余りの尊い命と自然・財産・文化財がごとく奪われ一般住民が地上戦を体験した沖縄戦。戦没者の霊を慰めて平和を祈る日として6月23日を「慰霊の日」と制定されています。

恥ずかしながら私は知らないで今回参加をしたのです。

「2019平和オキナワ集会」では「日米地位協定」と「他国の地位協定」との違いについて講演を聞きました。「日米地位協定」の現状と課題が明らかであり日本政府は何をやっているのだろうかと改めて不信感を感じました。

ピースフィールドワークでは連合沖縄青年委員会がピースガイドとして案内していただきました。新聞やテレビの報道で知っていたわずかな知識に加え、現実を知ることができました。沖縄には31の米軍専用施設があり、全国の米軍専用施設面積の約70.6%が沖縄に集中していること。住宅が立ち並ぶ中にある普天間基地や嘉手納基地の状況。実際にヘリコプターやオスプレイ、戦闘機は飛んではいませんでしたが、騒音はものすごいんだらうなあと想像できました。普天間基地の代替地として建設を予定されている辺野古の海を埋め立てている所を瀬嵩の浜から見た際には心が痛みました。ジュゴンの生息地であるちゅら海を埋め立てるなんて！

その半面、基地で働く沖縄の人もある。辺野古の海を埋め立てることが仕事である人もある。埋め立てに反対する人達を見張っている地元の漁業組合の人たちもいる。それで生活を維持しているという矛盾を思うと切ない気持ちになりました。

「平和行動 in 沖縄2019」に参加して改めて考えさせられることばかりでした。今の私にできることはいつまでも沖縄に関心を持つ事。今回体験し感じたことを一人でも多くの人に伝える事だと思っています。スローガンに「語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で恒久平和を実現しよう」とありました。まさにその通りだと感じました。



平和行動 in 広島 8月5～6日

自治労最北総支部 小野 史明

2019年8月4日から6日の日程で連合平和行動 in 広島に参加させていただき、平和について考えるきっかけになった。

平和記念資料館ではその被爆資料の数々に、胸を締め付けられた。すべてが現実であると、実物が語りかける。「原爆投下で広島は大変な被害にあった」程度の知識はあった。「大変な被害」がどれほどのものか、その実相を多くの人々が知れば知るほど、それだけ戦争が遠くのように思う。

ピースウォークでは平和公園内の慰霊碑や記念物を、現地の連合青年・女性委員より案内いただいた。私と同世代の方々が、過去の惨禍を学習し未来につなげるため、炎暑の中、活動する姿に感心した。そして自分をふりかえり、身をつまされた。

広島・長崎に原爆が投下され、世界はその惨状に恐怖しそして核兵器を増産しはじめた。矛盾しているようだが、かなしいことにこれが事実である。一方で、核なき世界に向けて、取り組み続ける被爆者の方々がいる。目をそむけなくなる被爆体験に向き合い、核の非人道性を世界に訴え続けてきた勇気ある方々である。現在では、高齢化により、平和を訴える担い手の育成が急務だ。核なき世界は遠いが、だからこそ、若い世代が歴史を学び、平和を希求し、行動しなければならない。そして次の世代に引き継がなければならない。なにができるか、考えてみたい。

今回参加し、平和をただただ消費する現代の我々の生活について、反省しきりであった。また、平和をじっくりと考える減多にない機会をいただき、関係者の皆様には感謝を申し上げる。この平和行動 in 広島を起点にして、自分のできることを探し、実践しようと思いを強くした。



平和行動 in 長崎 8月8～9日

ケミコン山形労働組合長井支部 平井 直之

2019年8月8～10日の3日間、連合「平和行動 in 長崎」へ参加させていただきました。平和行動の参加が初めてで、とてもいい経験となりました。

初日は連合2019平和ナガサキ集会に参加しました。その中で全国各地から選ばれた『高校生平和大使』の紹介がありました。その時、6月にローマ法王と広島と長崎の高校生が平和を願うメッセージを伝えた報道がなされことを思い出し、若い人が原爆について関心を持ち、平和を願う活動をされている事が国内外に影響を与えていることに強く感心致しました。

その後のシンポジウムでは、実際被爆にあわれた方のお話をお聞きし、当時の状況や悲惨さが伝わってきました。この悲惨さを訴えていくことが唯一の被爆国としての役割ではないかと思えます。

2日目は、被爆74周年 長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典とピースウォークへ参加しました。祈念式典はまず被爆者による合唱から始まり、各党派首や各国からの代表者などが参加されており、日本としても世界的にも重要な式典であることが感じられました。

ピースウォークでは、爆心地公園から平和公園の各所を回り、いろいろと見学し貴重な話を聞くことができました。今まで長崎の被害についてはあまり知ることはありませんでしたが、原爆による被害は甚大で多くの犠牲があったことを今回の平和行動で知ることができました。このような機会があればぜひ参加して、平和について感じていただきたいと思います。

最後になりますが、現在の長崎市内を見るとここまで復興させてきた長崎の方々の努力に驚き、改めて人の強さを感じることができました。今回、貴重な経験をさせていただいたことに感謝致します。



平和行動 in 根室 9月7～8日

自治労天童市職労 安孫子健治

9月6日から9日まで、連合2019平和行動 I 根室に参加した。この平和行動の中で、実際に北方領土で暮らしていた方の話を聞くことができた。戦前の島での豊かな暮らしや、戦争が終わり平和に暮らせると思っていた矢先に、ロシア兵が突然侵攻してきて島を占領され不安に思ったこと、強制的に日本に送還されたときの過酷な状況などについて話をされていた。今では想像もできないような現実があったことを知って、いろいろと考えさせられた。

元島民の平均年齢は80歳を超え、人口も半分以下になってしまったということから、北方領土の問題は、できるだけ早く解決しなければならないと思った。しかし、戦争による解決はだれも望んでいないし、絶対してはならない。共同経済活動やビザなし交流などを通じて、友好的な解決方法を考えていく必要があると思う。

連合2019平和行動 I 根室に参加する機会をいただいた、多くの方に感謝したい。この平和行動で見えてきたことや聞いてきたこと、思ったことなどをさまざまな場面で多くの方々に伝えることで、北方領土の問題について知ってもらい、解決に向けて少しでも進んでいくように取り組んでいきたい。



青年委員会

「2019青年交流集会」開催

青年交流集会は、毎年各地域協議会の青年委員会と連携を図り、合同幹事会を開催しながら持ち回りで開催しております。今年は9月20（金）～21日（土）にかけて置賜地協管内「パレス松風」で開催し、33人の参加者で学習と交流を行ないました。

初日の学習会では「今からはじめる資産運用」について、青年委員会本間委員長より投資信託など実体験を交えながら分かりやすく講演いただき、参加者のみなさんからは、もっと聞いてみたいという感想もありました。その後に行った分散会では、「幸せ」をテーマにマインドマップをグループで描き、自分の幸せと他の人の幸せの共通点や違いなどディスカッションし、新たな発想と相互理解をはかることが出来ました。

2日目には山峡紅の里で紅花染めのハンカチを作りました。参加者みなさんのハンカチが芸術的な作品に出来上がったことや、講師の方から紅花の歴史を聞いたことなど、貴重な体験をすることができました。



山形県退職者連合

2019山形県高齢者集会を開催

9月4日、山形市大手門パルズにおいて「2019山形県高齢者集会」が開催され、150名の方々が参加されました。連合山形と山形県退職者連合による実行委員会では毎年開催され、高齢者福祉の諸課題への取り組みを確認しています。

伊藤寛実行委員長（県退連会長）は、「高齢者福祉の問題について、焦らずしっかりと取り組んでいきたい」とあいさつ。また、今夏の参院選で初当選された芳賀道也さんが来賓として出席され「社会が良くなるように皆さんと力を合わせ、しっかりと働いていきたい」と力強くあいさつされました。

集会アピールを採択した後、記念講演として、山形市消費アドバイザーによる「高齢者の消費トラブルと点検商法トラブル等」について講演をいただき、注意を呼びかけられました。

2019 山形県高齢者集会



山形県退職者連合 伊藤会長



来賓の挨拶 参議院議員 芳賀道也氏



講師 山形市消費アドバイザー

「山形県と県退連との懇談会」を開催

9月10日、山形市あこや会館において山形県退職者連合と山形県との懇談会が開かれ、先に山形県退連から提出された要請書に対する回答と意見交換が行われました。

要請書の内容は、8項目14事項で構成されており、吉村県知事も出席されるなか、県からの現状報告や回答をいただきました。県退連からはオブ参加を含め29人が参加し活発な意見交換が行われました。

【要請内容】

1. 山形県沖を震源とする地震について
2. 認知症対策について
3. 高齢者をめぐる詐欺トラブルについて
4. 高齢者の引きこもり等について
5. 子育て支援について
6. 県立病院の人材確保と機構整備について
7. 高齢者単身女性問題
8. 高齢者の自動車運転問題について



要請書について説明する伊藤会長



挨拶する吉村県知事

**2019年10月22日より
サービス開始!**

ろうきんアプリ

ご利用手数料 無料!

1 残高・明細
リアルタイムで口座残高や入出金明細の照会ができます。
* 給与入金・カード引落しもらくらく確認
* 入出金があれば、プッシュ通知でお知らせ(※1)
(※1) 入出金明細のプッシュ通知について
・スマートフォンの端末自体や通信、当金庫システムの状況もしくは機種変更などにより、入出金お知らせのプッシュ通知が遅延する場合があります。
最新の入出金明細などは必ず本アプリ画面でご確認ください。
・入出金明細のプッシュ通知はメイン口座のみとなります。

2 店舗・ATM
お近くのろうきんの店舗やATMを検索できます。

3 ろうきんダイレクト
ろうきんダイレクト(インターネットバンキング)にかんたんログインでき、振込・振替などのお取引ができます。

4 ホームページ
ろうきんのホームページをご覧ください。

**5 税公金支払い
(ペイジー・モバレジ)**
スマートフォンのカメラ機能で税金などのお支払いもかんたんにできます。(※2)
(※2) メイン口座からのお支払いとなります。サブ口座はご利用いただけません。

**6 Money Forward
かんたん通帳**
通帳アプリ「かんたん通帳」と連携して、入出金の明細を確認できます。
スマートフォンが通帳代わりになり、かんたん通帳専用のデザインもあります。

**7 新着・おすすめ
& お役立ち情報**
おトクな情報やお役立ち情報が盛りだくさん! プッシュ通知でもろうきんからのお知らせが届きます。

■ご利用にあたって
アプリ推奨のOSの詳細や、その他本アプリのご利用にあたってのご留意事項は、当金庫ホームページでご確認ください。
※アプリ推奨OSでご覧いただいた場合でも、機種・端末の設定などにより正常に動作しない場合がございます。
※タブレットは推奨端末ではございません。
※本アプリは無料でご利用いただけますが、アプリのダウンロードや利用時にかかる通信料は、お客さまのご負担となります。

■ろうきんアプリの概要

ご利用いただける方	ろうきんの普通預金口座と、そのキャッシュカードをお持ちの個人のお客さま
ご利用時間	24時間(税公金支払いは7:00~22:45) ※第1・第3月曜日の2:00~6:00、1月1日~1月3日の終日、5月3日~5月5日の2:00~6:00、ハッピーマンデー(注)の前日21:00~当日6:00はサービスを停止いたします。(注)ハッピーマンデーは成人の日・海の日・敬老の日・体育の日です。 ※システムメンテナンス時、サービスを休止する場合があります。

生活応援バンク
ろうきん

東北労働金庫 山形県本部

<https://www.tohoku-rokin.or.jp>

0120-1919-62

フリーダイヤル
(受付時間: 平日 午前9時~午後5時)

2019年10月1日現在

こくみん共済 coop
公式キャラクター ビットくん

こくみん共済 NEWS

0619W001

共済を通じて、誰もが安心して暮らせる社会へ。

こくみん共済

団体生命共済

火災共済

自然災害共済

総合医療共済

せいめい共済

マイカー共済

自賠責共済

交通災害共済

新セット移行共済

2019年6月、全労済から「こくみん共済 coop」へ

こくみん共済〈全労済〉

全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

たすけあいの輪をむすぶ

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

こくみん共済 coop〈全労済〉山形推進本部

(山 形 県 勤 労 者 共 済 生 活 協 同 組 合)

〒990-0827 山形市城南町1-18-22

TEL 023-646-4666 (代)